

令和3年度「屋外タンク実務担当者講習会」開催案内

危険物保安技術協会

昭和52年（1977年）の消防法改正により、特定屋外タンク貯蔵所の基準が大幅に整備され、開放点検等が義務付けられ既に40年以上が経過しました。この間、地震災害や設備の経年劣化等が要因となり、火災、爆発、流出等の事故が何度となく発生しましたが、その都度、これらの事故を教訓とし屋外貯蔵タンクの技術基準が見直され、安全対策等の整備が進められてきました。

また、近年、高度経済成長期に建設された屋外タンク貯蔵所などは、老朽化が進み維持管理のあり方が課題となっており、さらにソフト面では、保安の確保や技術の伝承が重要な課題となっております。

本講習会では、これらの課題を踏まえ、技術基準の重要性と安全を重視した維持管理のあり方に焦点を当て、事例等に基づいた実務的な要素を取り入れ、適切な審査等に関する知識・技術の習得を目的とし、下記のとおり開催いたします。

なお、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、Webによる配信といたします。

記

1. 主催

危険物保安技術協会

2. 協賛

全国消防長会、石油連盟、石油化学工業協会、日本非破壊検査工業会

3. Webによる配信期間等

(1) 配信期間

令和3年12月1日（水）から令和4年1月31日（月）まで

(2) 受講方法

ご入金確認後、受講者に対し、閲覧方法を書面で送付いたします。

(3) テキスト

テキストは受講者に送付いたします。

4. 受講対象者

主に、屋外タンク貯蔵所を保有する事業所、タンクメーカー、非破壊検査会社及び消防機関等の屋外タンク貯蔵所に係わる業務に携わる方を対象としていますが、特に限定はいたしません。

5. 受講料

15,400円

*テキスト代・送料・消費税込み。

6. 開催プログラム

内 容	講 師
(1) 屋外貯蔵タンクに係る基準の概要	危険物保安技術協会 タンク審査部
(2) 屋外タンク貯蔵所の技術援助について	
(3) 屋外貯蔵タンクの現地審査における留意点	
(4) 屋外貯蔵タンクの「基礎」を考える！ ～基礎からみたタンク本体のこと～	危険物保安技術協会 土木審査部
(5) 地震による屋外タンク貯蔵所の被害について	危険物保安技術協会 事故事例調査研修センター

7. 講習内容

(1) 屋外貯蔵タンクに係る基準の概要

消防法における屋外貯蔵タンクの基準は、過去の災害等を踏まえて整備されており、タンクの容量や設置時期等によって異なったものとなっています。今回の講習では、この屋外貯蔵タンクの基準について、分かり易く解説します。

(2) 屋外タンク貯蔵所の技術援助について

当協会では、屋外タンク貯蔵所の審査等により培ってきた知識・技術・経験を活かし、タンク開放周期の個別延長、浮き屋根の点検、水張試験の合理化の評価等、幅広い技術援助を行っています。今回の講習では、タンク本体に係る技術援助の紹介と評価を行った事例及び委託する際の留意事項について解説します。

(3) 屋外貯蔵タンクの現地審査における留意点

屋外貯蔵タンクの定期保安検査や完成検査前検査等の現地審査の際には、タンクの腐食状況の聞き取りや、施工管理記録の確認を行った上で、タンクの板厚や溶接部に対して非破壊試験を実施し、法令で定める基準に適合しているか審査しています。今回の講習では、現地審査の際の手順や具体的な審査方法を解説するとともに、協会の検査員が着目するポイントを紹介します。また、最近の現地審査における不適合事例や特異事例の紹介も行います。

(4) 屋外貯蔵タンクの「基礎」を考える！～基礎からみたタンク本体のこと～

屋外貯蔵タンクの「基礎」は、タンク本体と地盤との間に介在し、タンク本体や貯蔵する危険物の重量等の荷重を直接支持し、その荷重を下部の地盤に伝達する機能が必要とされる構造体です。

また、屋外貯蔵タンクの基礎は、タンク本体の構造的特性を十分考慮する必要があり、さらにはタンク底板と直接接触することから、腐食の影響も考慮する必要があります。

今回の講習では、タンク本体に与える影響等も考慮しながら、屋外貯蔵タンクの「基礎」のあるべき姿について解説します。

(5) 地震による屋外タンク貯蔵所の被害について

過去の地震における屋外タンク貯蔵所の被害状況を紹介します。

特に大きな被害を受けた阪神淡路大震災での座屈現象や十勝沖地震による浮き屋根タンクの被害等について、その損傷形態が生じた原因について解説します。

8. 受講手続き

(1) 申し込み

ア. 当協会ホームページ「屋外タンク実務担当者講習会」にアクセスし、インターネットによりお申し込み下さい。折り返し受付完了メールが自動配信されます。

(<http://www.khk-syoubou.or.jp/seminar/3.html>)

なお、インターネットでのお申し込みが難しい方は、下記にお問い合わせください。

イ. 令和3年10月31日までに申し込みください。

(2) 受講料の振り込み

ア. 受講料は令和3年10月31日までに、当協会指定の銀行口座あてお振込みください。現金での受付は行いません。

イ. 請求書は開催案内に受講料等を明記しているため発行いたしません。また、領収書は金融機関への振込受領書等をもって領収書に代えさせていただきます。

ウ. 申請者の都合等により受講を取りやめた場合は、原則として受講料は返金いたしませんのでご了承ください。

エ. 振込手数料は申請者側でご負担をお願いします。

オ. 受付完了メールに添付されたアドレスから入金確認書類をアップロードして下さい。アップロードが完了しない場合は、受講申請をキャンセルとさせていただきます。

入金確認書類とは、金融機関作成の振込内容がわかるもの（振込日、振込人名、振込金額が記載されたものの画面コピー、写真等）として下さい。金融機関作成の振込内容がわかるものの提出が困難な場合は、振込人名を「受講番号+受講者名」としていただき、振込日及び振込金額を記載したものをアップロードしてください。

データ形式は「PDF」または「JPEG」（ファイル拡張子は「.pdf」または「.jpg」）、データサイズは2MB以下のもとし、データ名は、「受講者氏名（英半角小文字）」として下さい

(3) 振込先

受付完了メールにて連絡させていただきます。

9. 個人情報の取扱い

危険物保安技術協会は、取得した個人情報をお問合せの回答及び講習会等の開催案内、その他これらの業務に附帯する業務のみに利用します。

10. 連絡先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル1階

危険物保安技術協会 屋外タンク実務担当者講習会事務局 宛

TEL : 03-3436-2357 E-mail:kensyu@khk-syoubou.or.jp